

## インターネット依存尺度の日本語版作成と

### 信頼性・妥当性、また有用性の検討に

#### ご協力いただいた方へ

東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野・精神看護学分野では、インターネット依存尺度の日本語版作成と信頼性・妥当性、また有用性の検討を実施しています。

#### 【研究課題】

インターネット依存尺度の日本語版作成と信頼性・妥当性、また有用性の検討  
(審査番号：3698)

#### 【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学大学院医学系研究科・精神保健学分野

研究責任者 川上憲人・東京大学大学院医学系研究科・教授

担当業務 研究総括、調査実施、分析

#### 【共同研究機関】

研究機関 株式会社マクロミルマーケティングリサーチ事業本部

担当業務 データ収集

#### 【研究期間】

2012年2月13日～2017年2月13日

#### 【対象となる方】

2012年3月10日～2012年7月29日の間に、調査① 機縁法により東京と秋田でリクルートされ面接と調査票の回答にご協力いただいた方、調査② 株式会社マクロミルマーケティングリサーチの登録者で、インターネット調査の回答にご協力いただいた日本全国の16歳以上の方。

#### 【研究の意義】

日本におけるインターネット依存の実態を把握するための「インターネット依存」尺度を開発する

#### 【研究の目的】

インターネット利用への熱中から、日常生活に影響を生じている状態は、「インターネット依存」と称されています。諸外国では、その実態を把握するために、たくさんの質問票が開発されてきました。ですが、それらによっても、インターネット依存についての詳細な実態は把握しきれいていません。日本においても、同

様の状況となっています。そこで、東京大学精神保健学教室においても、国内のインターネット依存に関する研究の促進を目指し、世界で広く普及している質問票の日本語訳を作成します。

#### 【研究の方法】

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学大学院医学系研究科・医学部長の許可を受けて実施するものです。

##### 調査①

2名の独立した研究者により CIUS（資料5）と GPIUS2（資料5）を英語から日本語に翻訳した後、訳語をつき合わせて調整を行い、そのあと英語に精通した者による逆翻訳を実施し、原著者からもコメントを得つつ原版と相違がないか検討する。翻訳作業終了後、インターネット依存ハイリスク群計50名を対象としたパイロット調査で、翻訳済みの CIUS と GPIUS2 を用いて質問紙調査ならびに回答方法や質問についてのグループインタビュー（資料3）を行う。インタビュー内容は IC レコーダーにて録音される。この結果をもって内容的妥当性及び実施可能性の評価を行い、暫定版の CIUS 日本版と暫定版 GPIUS2 日本版、また、JIAT 日本版を用いて、ウェブ・アンケートを作成する。

##### 調査②

インターネットで情報収集委託機関である「株式会社マクロミル」に登録しているネットユーザーのうち、インターネット依存調査への協力に同意した480名程度を対象としたウェブ・アンケートを実施し、信頼性、妥当性の検討を行う。同意を得られた対象者には、JIAT 日本版、暫定版 CIUS 日本版尺度と暫定版 GPIUS2 日本版尺度のほか、基本属性、K6 精神健康尺度、CES-D うつ病自己評価尺度、UCLA 孤独感尺度を含んだアンケート（資料7）への回答を依頼する。また、本調査のホームページ上にある個人専用ページからウェブ・アンケートにアクセスし、回答を入力してもらう。研究者は、本調査のホームページ上にある研究者個人専用ページから、自動集計された入力データにアクセスする。ここで得られたデータを用い、暫定版 CIUS 日本版尺度と GPIUS2 日本版尺度について信頼性、妥当性を検討する。この結果をもとに、必要に応じて項目の改定、除外ならびに原著者とのやり取りを繰り返し、CIUS 日本版尺度と GPIUS2 日本版尺度を完成させる。調査②で得られたデータから三つのインターネット依存尺度（CIUS 日本版尺度、GPIUS2 日本版尺度、JIAT 日本版尺度）の信頼性、妥当性を比較する。なお、個人ページ作成の手順は資料10に添付する。また、研究者はホームページ上にある研究者個人用ページにアクセスし、ID化されたデータをダウンロードする権限を持つ。

#### 【個人情報の保護】

音声データは逐語録を作成します。その際、固有名詞は匿名化し、連結可能匿名化します。データは東京大学大学院医学系研究科精神保健分野のみで分析を行い、皆さまにご提供していただいた情報は、研究に関わらない第三者がその内容を知ることのないようにします。また、調査時口頭にて回答を得る場合は、対象者がその場での回答について了承の得られた場所で行い、不用意に第三者に回答の内容が知られることのないようにします。また、分析する前に氏名・住所・生年月日などの個人情報を削り、ID化したうえで、当研究室において厳重に保管します。

この研究に関わって収集されるデータ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱います。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がございましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

この研究に関する費用は、東京大学大学院医学系研究科・医学部精神保健学分野の運営費（厚生労働科学研究費補助金）から支出されています。

○本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

尚、ご回答頂いた方への謝金はございません。

#### 【問い合わせ先】

東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野・精神看護学分野

担当者：川上憲人

住所：東京都文京区本郷7-3-1

電話：03-5841-3364 FAX：03-5841-3392

メールでのお問い合わせ：kawakami@m.u-tokyo.ac.jp

※お問い合わせの際には、「オプトアウト」の件でお伝えいただき、1ページ目の研究課題名と審査番号をお知らせください。